|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | テーマ等 | 総合的な学習の時間　「親学習」について |
| ２ | 実施日 | 令和2年12月10日 木曜日　午前8：45　　～　　12：35 |
| ３ | 実施場所 | 吹田市立南千里中学校 |
| ４ | 講師 | 豊中市親学習リーダー |
| ５ | 参加対象 | 南千里中学校１年生（１組～４組）の生徒※各クラス１時間ずつ実施 |
| ６ | 講座の様子 | （内容等）  目的  ・親学習を通して、自分の親への感謝、これからの自分の生き方について考える。  ・卵を自分の子どもに見立て、命の大切さと、親として命にかかわることの責任の重さを実感する。  当日の様子  赤ちゃんの特徴について、想像することをワークシートに書くことからスタートしました。  （想像）軽い、歯がない、しゃべれない、泣く、首が座っていないなど。  その後、沐浴人形を持って、赤ちゃんの重さを体感しました。  （感想）「重たい！」という感想が多く聞かれました。  次に、自分の子どもに名前をつけるなら？というお題で、自分の子どもの名前について考え、卵が配られました。  生徒は卵に顔を描き、自分で考えた名前を書いて我が子に見立てました。  生徒たちにとって、その子（卵）を、誰かに預けたときにどう感じるか、他人の子（卵）を預けられた時の心境はどうだったか、預けた子（卵）が戻ってきたときの心境など、親の気持ちを考える機会となりました。  （預けたときの心境）  「不安に思った。」「大切にしてもらいたい。」「申し訳ない。」  （預けられた時の心境）  「預かった以上大切にしないといけない。」「自分の子どもも大切。」  （戻ってきたときの心境）  「安心した。」「良かった。」「ほっとした。」「預かってくれてありがとう。」  （写真） |
|  |

